

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領株主
確定日 期末配当金 3月31日
中間配当を実施する場合 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人及び
特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告
(当社のホームページに掲載いたします。)
(<https://www.maruo-cal.co.jp/>)
但し、電子公告によることができない事故、その他の
やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載
いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

単元株式数 100株

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求、買増請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度に関するお知らせ

1. 対象となる株主様

2023年3月31日現在の株主名簿に記録された当社株式1単元株(100株)以上を保有していただいている株主様を対象とさせていただきます。

2. 優待の内容

対象となる株主様1名につきクオ・カード1,000円分を贈呈させていただきます。



 丸尾カルシウム株式会社

〒674-0084 兵庫県明石市魚住町西岡1455番地

第75期 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

BUSINESS
REPORT



証券コード：4102

 丸尾カルシウム株式会社



代表取締役社長 丸尾治男

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、未だ終息を見通せませんが、世界はコロナウイルスとの共生を前提として、前向きに進み始めております。当社におきましても、引き続き感染症対策を実施しながら、Zoom等のリモート手段も併用しながら、基本はお客様との対面を重視して、事業を推進してまいります。

さて、当社第75期上半期(第2四半期連結累計期間 2022年4月1日から2022年9月30日まで)の事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。

当上半期における世界経済につきましては、コロナウイルスによる経済活動の停滞に対し、金融緩和、現金支給等の総合対策を素早く実施した米国を中心に、景気は上向いてまいりました。モノへの需要が急速に膨らんだ結果、落ち込んだ生産を急回復させる過程で、資源、エネルギー価格の高騰、半導体不足、物流の混乱、賃金の上昇等の様々な要因が絡み合い、欧米諸国ではインフレが高進してまいりました。欧米金融当局は、インフレ抑制のため、量的金融緩和を終了し、金利引き上げを急ピッチで進めております。また、2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、石油、天然ガス等のエネルギー、食料の不足、高騰の大きな要因になっております。

中国においては、ゼロコロナ政策として各地で実施されたロックダウンと、不動産価格高騰抑制策の実施が、GDPの低下を招き、世界経済を不安定にしております。

日本経済については、ワクチン接種が進み、経済活動は上向いてまいりましたが、デフレマインドからの脱却は進まず、政府、日銀は金融緩和、低金利政策を継続せざるを得ません。日米金利差の拡大は、急速にドル高、円安を進行させ、貿易収支は、エネルギー価格の高騰と円安の結果、2022年8月には過去最高の赤字額を記録しました。

このような情勢下、当社グループにおきましては、高品質と安定供給を前提に、高騰する原材料、資源、エネルギー価格に対応するため、価格改定を進めてまいりました。

その結果、売上高につきましては、61億59百万円(前年同期比5億84百万円の増加)となりました。しかしながら、原材料、資源、エネルギー価格の上昇は止まらず、生産の効率化によるコストダウンに努めましたが、営業利益は33百万円(前年同期比69百万円の減少)となりました。経常利益につきましては、為替差益等により1億87百万円(前年同期比8百万円の増加)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、生産効率化のための固定資産処分損や、退職金増加を意図した賃金規定の改定の結果、一時費用が発生し、78百万円(前年同期比39百万円の減少)となりました。

下半期につきましても、資源、エネルギー価格の高騰、ドル高、円安は続くことを前提に、価格改定と円安対策を着実に実行してまいります。また、世界各国での行動制限緩和を受け、制限してございました世界展開を再開いたします。

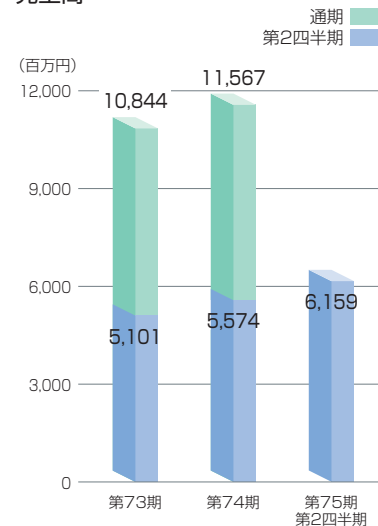
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年12月

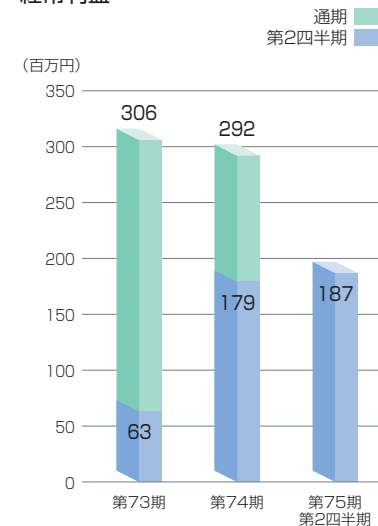
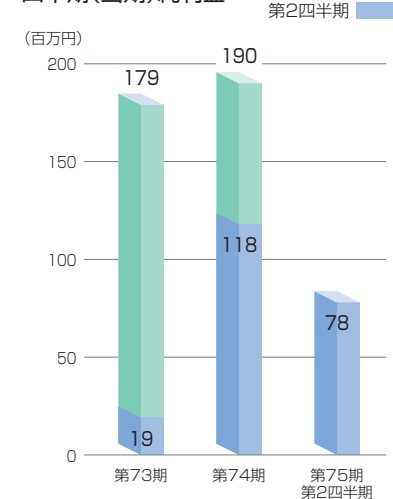
		第73期 第2四半期 (2020.4~2020.9)	第73期 (2020.4~2021.3)	第74期 第2四半期 (2021.4~2021.9)	第74期 (2021.4~2022.3)	第75期 第2四半期 (2022.4~2022.9)
売上高	(百万円)	5,101	10,844	5,574	11,567	6,159
営業利益	(百万円)	△31	151	103	138	33
経常利益	(百万円)	63	306	179	292	187
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	19	179	118	190	78
1株当たり四半期(当期) 純利益	(円)	8.53	80.04	53.12	85.74	35.26
純資産	(百万円)	10,419	9,808	9,425	9,297	9,311
総資産	(百万円)	17,603	16,596	15,754	15,637	16,640

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第74期の期首から適用しております。

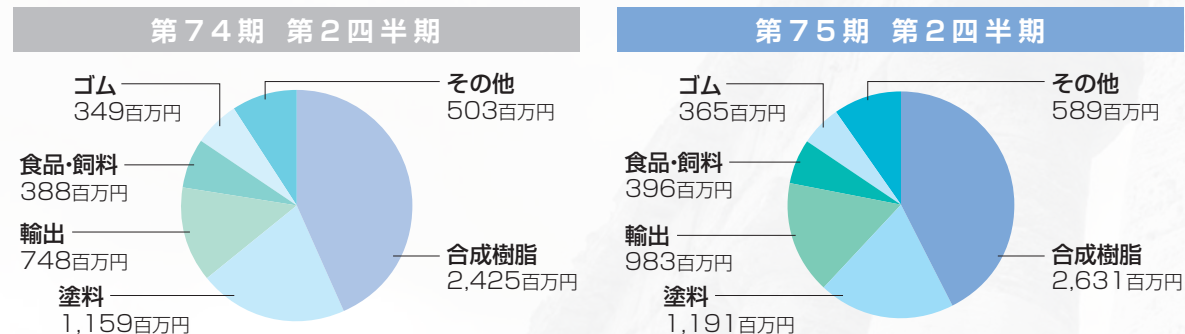
売上高



経常利益

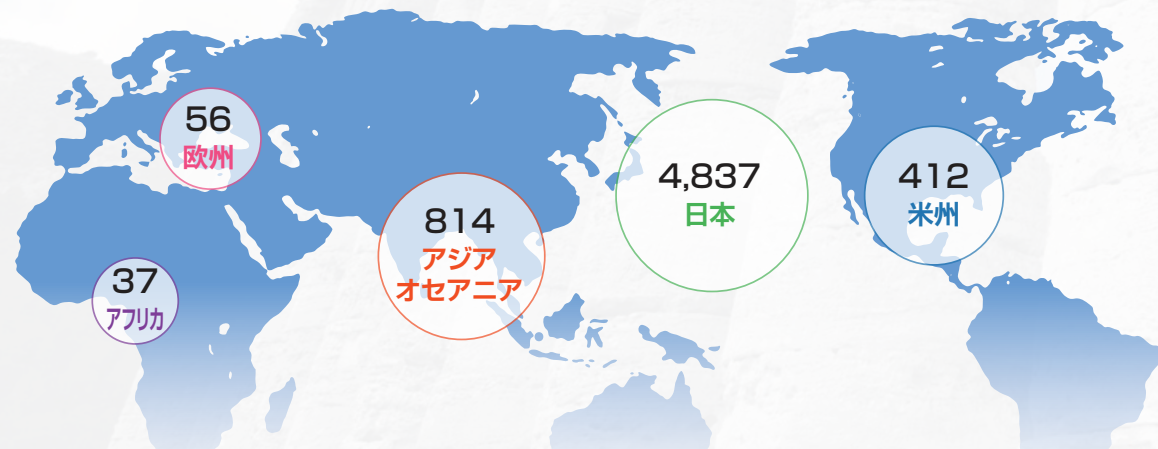
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

用途別売上高構成



地域別売上高構成(第2四半期)

単位:百万円



こんなところでも... CaCO_3



炭酸カルシウム今昔物語

私たちの家やマンション、ビルなどの建築物には沢山のシーリング材が使用されていますが、そのシーリング材には炭酸カルシウムが使われています。

シーリング材は、建物の隙間や継ぎ目(目地)を埋めることで、風雨から建物を護ってくれます。また、弾力性のある合成樹脂が素材になっているため、地震の多い日本の建築物の揺れや衝撃を緩和させる役割も担っています。

日本では、1952年に初めて海外からシーリング材が輸入され、その後、1955年頃に国内生産が開始されて以降、南極昭和基地、東京タワーなど様々な建築物において使用され、現在では建築物に欠かせない材料となりました。

当社の炭酸カルシウムは、シーリング材の作業性、弾力性、接着性などの性能を高いレベルで発揮できるよう手助けをしています。私たち丸尾カルシウム株式会社は、皆様大切な生活を陰で支えるため、これからも一層の努力を重ねてまいります。



株式の状況 (2022年9月30日現在)

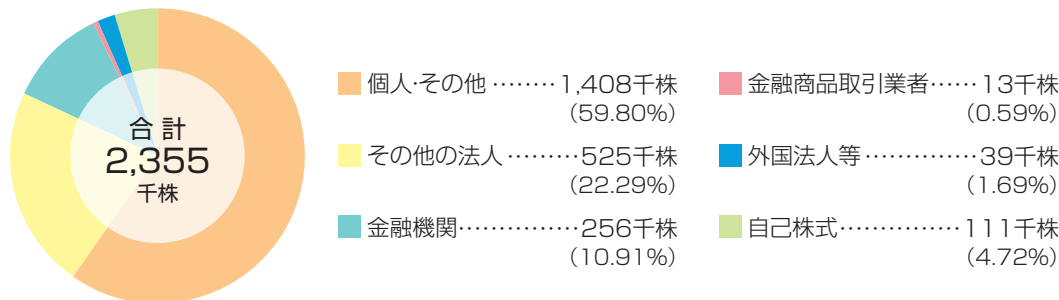
発行可能株式総数 8,000,000株
 発行済株式の総数 2,355,200株
 株主数 1,035名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中国礬業株式会社	249	11.10
丸尾治男	145	6.49
山陽化学産業株式会社	114	5.08
丸尾政雄	87	3.90
株式会社三井住友銀行	76	3.41
大同生命保険株式会社	63	2.82
損害保険ジャパン株式会社	53	2.40
丸尾カルシウム従業員持株会	45	2.03
丸尾直子	42	1.88
丸尾成子	39	1.77

(注)1.持株比率は、自己株式数(111,139株)を控除して計算し、小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。
 2.自己株式は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況



会社概要 (2022年9月30日現在)

商号 丸尾カルシウム株式会社
MARUO CALCIUM CO.,LTD.
 本社所在地 〒674-0084
 兵庫県明石市魚住町西岡1455番地
 創業 大正15年(1926年)10月1日
 設立 昭和23年(1948年)11月18日
 資本金 8億7,655万円
 従業員数 270名
 事業概要 炭酸カルシウム製造・販売、
 その他無機薬品販売

会社役員及び執行役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長 丸尾 治男
 専務取締役 深津 秀郎
 常務取締役 森下 俊哉
 取締役相談役 今井 一史
 社外取締役 久保 眞治
 常勤監査役 丸尾 雅広
 社外監査役 増田 博明
 社外監査役 石井 隆明
 執行役員 谷井 通宏
 執行役員 柴田 洋志
 執行役員 森 常久
 執行役員 坂口 茂
 執行役員 高垣 充

当社グループ

